



第 46 号 2002 年 7 月

発行：萩ネットワーク協会
 〒 758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内
 TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458
 萩市ホームページ
<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/hagicity/>

萩市役所前を通る国道 191 号の車道の 4 車線拡幅工事と歩道の電線類の地中化が終わり、市役所、市民館などの公共施設が並ぶメインストリートが広々とした通りに生まれ変わりました。県立萩美術館・浦上記念館から御許町交差点までの約 800m。

歩道を含めた全体の道幅が 12m から 27m に広がり、工事では車道の排水性舗装と歩道のバリアフリー化も行いました。市役所前の桜の古木は中央分離帯にそのまま残されました。

市役所前の明倫小学校、萩商業高校は今も萩の文教地区の中心ですが、皆さんに親しまれてきた市民球場は、平成 15 年度の椿のウェルネスパーク多目的広場の完成に伴い、16 年度から解体される予定です。

中心部の国道 191 号
 拡幅完成



(国土交通省提供)

7・8月のイベント・・・・・・・・・・・・・・・・	P2	クリッパーオデッセイ来萩・・・・・・・・	P9
萩市制施行 70 周年記念行事・・・・・・・・	P3	おいでませ山口館、萩口ケ支援隊.....	P10
萩 400 年の物語 第 10 回 (北村知紀).....	P4 ~ 5	第 9 回 HAGI 世界映画芸術祭.....	P10
ズームアップ [隆 琦浩道].....	P5	同窓会だより、めーるぼっくす (投稿).....	P11
夏みかん製品、萩発旬の味便り.....	P6	夢追人 [岩崎喜一郎].....	P12
紙上ショッピング.....	P7	リレーエッセイ [山縣睦子]、美術館だより.....	P13
萩・情報の駅、大相撲萩場所.....	P8	情報アラカルト.....	P14 ~ 15
萩市名誉市民、萩市民号.....	P9	幕末・維新こぼれ話 中嶋治平 (11).....	P16

萩のイベントガイド

夏の予定は決まりましたか？

萩夏まつり& 萩・日本海大花火大会

■萩・日本海大花火大会
海上から打ち上げる8000発の花火を堪能できる！

とき 8月1日(木) 午後8時～9時
※荒天の場合、4日に延期
ところ 菊ヶ浜周辺

■秋夏まつり

毎年恒例の夏まつり。ふるさとの祭りはどこか懐かしく、楽しいものです。

とき 8月1日(木)～3日(土)
ところ 菊ヶ浜(花火)、住吉神社、田町商店街、吉田町
主な催し



萩・万灯会



毎年、お盆に大照院で迎え火、東光寺で送り火と「萩・万灯会」が行われます。両寺院の境内には家臣たちが寄進した石灯籠が立ち並んでいます。それぞれ約500基の石灯籠に灯がともされ、人々を幽玄の世界に誘います。

迎え火
とき 8月13(火)・14日(水)
午後7時30分～
ところ 大照院
送り火
とき 8月15日(木) 午後7時30分～
ところ 東光寺

INFORMATION 砂の芸術祭

とき 7月20日(祝)
ところ 菊ヶ浜海水浴場
制作 午前5時～正午
表彰 午後2時～
催し ビーチ宝さがし 午後1時30分より
問い合わせ 萩市観光協会
(0838・25・1750)

山口県ビーチバレー

in萩

とき 7月21日(日) 午前9時～(雨天決行)
ところ 菊ヶ浜海水浴場
問い合わせ 萩市民体育館
(0838・25・7311)

萩ヨットレース2002

とき 7月28日(日) 午前9時50分～午後5時
ところ 菊ヶ浜沖
問い合わせ 萩市観光課内
萩ヨットレース実行委員会
(0838・25・3139)

萩ふるさとづくり

盆踊り大会

とき 8月17日(土) 午後7時30分～
ところ 明倫小学校
問い合わせ 萩市生涯学習課
(0838・25・1234)

【1日】萩・日本海大花火大会
【2日】市民総踊りヨイシヨコシヨ、トコトンヤレ節、よさこい維新
【3日】各種広場、ステージ、ゆかた美人コンテスト、のんた大提灯パレード、お船譚、住吉みこし
問い合わせ 萩商工会議所内夏まつり実行委員会事務局
(0838・25・3333)

萩市制施行70周年を迎えて



萩ネットワーク協会
会長 野村興兒

萩市制施行70周年の記念すべき年にあたり、萩市の「古稀」を祝い、また先人の偉業を偲び、改めてその遺徳に敬意と感謝の気持ちを表したいと存じます。

顧みれば、萩は藩政時代は藩都として時代を担い、幕末には改革の牽引車としての役割を果たすとともに、我が国の近代化に多大な貢献をしてきた誇るべき歴史と伝統のまちです。しかし、藩庁の山口への移転以降は次第に活力を失っていくものの、大正12年の椿東、椿、山田各村の萩町への合併を経て、新たな活路を見いだすべく昭和7年7月に県内4番目の市制を施行します。

折しも山陰本線の全線開通を控え、また貿易基地としての潟港の大改修の着工が決まり、続く昭和10年には、県知事を会長とする「萩史蹟産業博覧会」が盛大に開催され、「遊覧都市をかねた商工業都市」を目指し、市勢が大いに盛り上がったと伝えられています。大

いなる夢と希望を抱いての萩市の出発でしたが、前大戦によりこの願いは無惨にも打ち砕かれてしまいました。

戦後、外地から引き揚げて来られた人材集団とともに萩市は再出発し、先人の大変な努力により、観光、水産、物流等の各分野において特色のあるまちづくりが展開され、今日の萩市の基盤が形成されてきました。

星霜を重ね、国内外の情勢は大きく変化してまいりました。しかし市制施行の力となった大正の合併と同様に現在阿武郡3町4村との合併が大きな課題となっております。また、バブル崩壊後の経済停滞は、昭和初期の大不況に酷似しています。似たような時代背景の中で、萩市は市制70周年の記念日を迎えました。

この記念日を機会に萩市の来し方、70年の足跡を振り返り、その中に凝縮されている先人の知恵と努力と、多くの功績を学べば次の時代を切り開く私達への先人のメッセージを見いだすことが出来るのではないのでしょうか。

萩の地で培われた進取の気風と創意の精神をもって臨めば道は必ず開け、新たな展望が開かれるものと確信しております。

記念行事の紹介

- 竹とんぼフェスティバル
とき 7月28日(日)
午前10時
- 萩市民体育館
SHOW-INウオーク・東遊編
とき 8月21日～25日
- 青森県ほか
第27期囲碁名人戦
とき 9月25日～26日
- 常茂恵
萩ウェルネスパーク武道館竣工式完成記念事業
とき 9月28日～30日
- 萩ウェルネスパーク武道館
内容 山口県高校柔道選手権大会ほか
- 大相撲萩場所
とき 10月26日～27日
午前8時～午後3時
- 市民体育館
新能(秋時代まつり)
とき 11月9日
- 指月公園
萩市伝統芸能フェスティバル
とき 12月8日
- 市民館
全国椿サミット萩大会
とき 平成15年3月
- 平成15年3月
笠山椿群生林ほか

萩市のうた

「萩のなないろ」が完成!

萩市制施行70周年を記念して制作していた「萩市のうた」が完成しました。

歌詞については、各地から66件の応募があり、審査の結果、五嶋千夏さん(長門市)の作品「萩のなないろ」を最優秀賞として採用することに決定しました。

また、曲については県内の4人の作曲家に作品を提出していただき、津室ひとみさん(萩市)の作品を採用することになりました。

なお7月1日から携帯電話の着信メロディが萩市公式ホームページからダウンロードできます。
問い合わせ 萩市企画課文化振興係
(0838・253・590)

■萩市のうた表彰者
(作詞)
最優秀賞 五嶋千夏(長門市)
優秀賞 白澤真史(日置町)
(作曲)
最優秀賞 津室ひとみ(萩市・無田ヶ原口)

萩市のうた 「萩のなないろ」

作詞 五嶋 千夏
作曲 津室ひとみ

- 一、夏みかんの樹の下で
そっと目を閉じてごらん
さわやかな香りにのって
歴史の足音がきこえるでしょう
夢はなないろ 虹の下には
明日をつむぐ 白壁のまち
- 二、松をゆらす浜の風
そっと耳をすましてごらん
豊かなる いのちの海が
松門しょうもんの若木わかぎはぐくんできた
景色なないろ 虹の下には
未来に架ける 維新のまち
- 三、城下の桜 紅椿
そっと四季を感じてごらん
清らかな藍場の流れ
永遠とわのあいまに 語りかけるよ
萩のなないろ 虹の下には
優しく迎える みんなのふるさと

町づくり(下) 400年は水との闘いの歴史

今の萩市庁舎は昭和49年(1974)に落成したが、モダンな玄関ホールに入ってきた外来客は東壁面の飾りに目を見張る。思い思いの模様に町名をいれた大きな高張提灯が57個ずらりと並んでいるからだ。藩政時代の城下町萩の27町の町印が入った提灯。これは単なる回顧趣味や宣伝ではない。襲いくる洪水から三角州の我が町を守るため、各町は堤防守備の受け持ち区域を決め、昼間は同じ印の町昇り、夜間はこの高提灯を掲げ責任と覚悟を示した。萩の住民が大水との闘いから最終的に解放されるのは、市庁舎と相前後して完工した阿武川ダムを待たねばならない。



田畑1万石、死人7人
それでも被害僅少

江戸時代、人々の営みがいかに風水害に弱かったか、大きな被害を生じ易かったかは驚くほどである。事務的な記録の多い『毛利十一代史』を読んでさえ、被災報告の頻出に人々の苦しみ姿が偲ばれ、肅然とする。徳川綱吉が5代將軍になった年、延宝8年(1680)に次の記事がみえる。

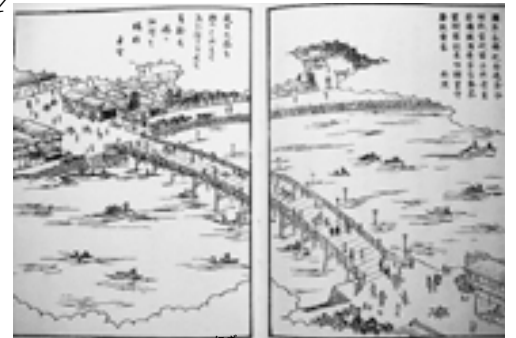
6月19日、7月朔日4日5日の洪水にて防長両国被害の景況、国許家老より通報あり。田畠四百町余が壊滅し被害高は1万石余、用水路などの堤2300か所余が破壊、落橋33か所、倒家54軒、死人7人なり。被害の計数僅少なるを以て幕府へ上申し。

今なら山口県下でこれだけの被害が出たら大変な騒ぎになる。それが被害は小さいと判定され、幕府への報告が見送られたとはどういふことなのか。国元を遠く離れた江戸の藩官僚の感度の鈍さもあるだろうが、それ以上に災害なれして驚きの心をすり減らしていたのではないだろうか。

この前年、延宝7年には田畠被害3万1千石、倒家2183軒、死人30人、前々年の同6年にも7万石、1296軒、13人の被害を生じ、いずれも幕府へ報告している。

元禄15年、3度の大水、萩の大半が水没

延宝期の大水の後、藩は萩城下を東西に横断する新堀川を開削した。長さ8町(872呎)、舟運の便をはかることもあったが、最大の狙いは洪水時の水はけにあった。だが、自然の猛威は人々の知恵と努力を超



江戸時代の橋本川の賑わい。洪水の時はこの大橋付近が重要拠点になった(『八江萩名所図画』より)

9万8550石なり」とし、2回にわたり各被害項目の計数を詳記している。合計してみると川土手の損壊は15万3281間(2777キ)、家が流れたり潰れた4911軒、死人46人という悲惨さである。

萩城下だけの数字はわからないが、6月30日について『萩市史』は「稀有の大洪水で堀内・古萩以外の地区は水につかり、流失した家屋や冠水した田畠も多く」と書く。水害の後、城下付近には細民が食料を求めて集まり、侍屋敷にまで侵入し蕨や葛根を掘り取り、中には蕨を壊し強奪する者もいたという。

橋本川の堤防を大補強する

さらに天災は2年後、3年後に連なって来た。とくに3年後の宝永2年(1705)の大水は元禄15年の水位より1尺余(30センチ)も高く、城下は堀内近くまで浸水して大きな被害をうけ死者も出た。

ついに藩は翌宝永3年の雨期を前に、橋本川堤防の大修築補強の工事を行う。『古老物語』にも「土手高く相成り候は佐世主殿の当役



江戸時代の萩藩の歴史集成、全43冊の『毛利十一代史』の一部(萩市立図書館所蔵)

と雑式町は川沿いの畠を削り、侍屋敷を立ち退かせ石垣を築いた。

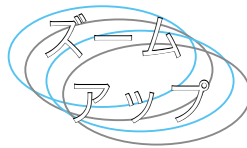
雨期まで3か月間の突貫工事だったが、人夫の動員数は延べ1万4349人、土砂運搬船が延べ2万8805艘にのぼっている。松本川の土手も同時に補強されたはずだが、詳しいことがわからない。

町あげて水防体制を敷く

その後も度々の洪水で堤防や道路が壊れたり、唐樋町まで浸水したりした。先の堤防大修理から33年、元文4年(1739)の梅雨期を前にして町民の間に流言飛語が流れ、騒ぎになる。「以前から洪水になると、御城下の方を救うため、向こう岸の土手切りが行われている。けしからん」

噂が事実無根かどうかは微妙だが、藩政府はこの年、住民の不信一掃のためもあり、思い切った洪水防止体制を確立した。

最初に紹介した、町昇り・提灯の話もその一環だが、一口にいえば、洪水の時は藩首相の当職から奉行、代官、全戸の町民に至るまですべて現場へ出動、一丸となって事にあ



こんごう編集舎代表

菱 琦 浩 道 氏

(大阪府在住、昭和15年秋中卒)

▶秋町民の洪水との闘いを語る藩政期秋27町の高張提灯。秋市役所の玄関ホールで。

え、住民を痛め続ける。とくに、新堀川を開いて15年、元禄15年(1702)が酷かった。あの赤穂義士討ち入りの年だ。『毛利十一代史』は5月13日、6月30日、8月30日の「3回の洪水公領損害高合計

中、元禄15年同17年大水にて米屋町迄水上げ申に付如此」とある。堤防はそれまでより約370尺長くし、土台部分を広げ、上に竹藪をうえ、ほぼ全体に石垣を二段ないし一段組にした。対岸の金谷

たるというものである。そのため日頃からの備え、出動の手順など細かく規定している。紙幅は尽きたが、城下町秋の洪水との苦闘は幕末、もう一度山場を迎える。(つづく) 郷土史家 北村 知紀

秋中の思い出

四方に薫りを敷島の
大和錦の麗しく：
4月21日、大阪指月会で、数人のオールドボーイが蛩声を張り上

げ、約60年振りに感動の合唱をしました。
新緑ゆらぐ指月山：
とともに、春秋の運動会などにポプラの木の下で懸命に歌ったものです。

厳しい世相

月、日中戦争が起こり、農業、工作担当の岡崎正信先生が早速応召、東萩駅まで見送りに行き、それ以後厳しい戦時態勢に入ってきました。

昭和15年3月秋中卒業。16年12月8日太平洋戦争に突入、この夜東京は灯火管制で真っ暗、緊張と不安の世になりました。
学生の徴兵猶予も中止になり、18年12月1日に全国一斉に学徒出陣で兵役に就きました。

秋への期待

見えました。
いま私は、(社)松原市緑花協会に属し、平地ばかりで緑の少ない街の緑化推進に、苗木の無料配布や花いっぱい運動のボランティア活動。また山好きの仲間・楠友クラブの一員として、国定公園金剛山を拠点に、毎月1回清掃登山を実施して27年。6月5日環境大臣から地域環境美化の功績で団体表彰を受けたところです。

プロフィール

一つです。秋の活性化へ大きな期待が持てます。
萩といえば、昔から史跡巡りとお土産は、萩焼、カマボコ、夏ミカンと言われます。現在はどうでしょうか。
最近では海産物も青果物も、次々に新品種、新製品が生産され、まさに戦国時代です。特産品に恵まれた萩のよいものを売り込み、催事などに積極的な企画攻勢に出られるよう期待するところ大です。



4月21日の大阪指月会にて

在校中の昭和10年代には、野球部、ラグビー部、全国でも珍しい和船部が相次いで新設され、部活は活気づいていました。また萩市では昭和10年の春、萩産業観光大博覧会が土原で開かれ、全国からの観光客で賑わいました。
一方、昭和12年7

復学したもの、戦災のまだ復旧せぬ大阪で、直ぐに採用してくれる企業もありませんでした。幸い産経新聞社の入社試験に合格、22年1月編集局社会部記者として採用され、以後記者生活30年。
復興から高度成長へ伸びる日本社会を、また定年後10余年、民事調停委員として、サラ金、住宅、交通事故とバブル社会のひずみを

萩へは平成2年秋に、卒業後50年記念の同期生同窓会に出席して以来ご無沙汰していますが、この時見せてもらった石彫公園が西ノ浜の印象を、すっかり明るく変え、近代化の一端がうかがえました。
さらに、このたび水産物地方卸売市場が完成したことは大きな喜びです。水産物の北浦地区中心市場として流通はもちろん、一般観光客も利用できることは楽しみ

昭和21年9月龍谷大学文学部卒業後、産経新聞社入社。各支局長、部長を経て昭和52年12月定年退職。昭和59年4月から平成9年12月まで民事調停委員、司法委員。現在、(社)松原市緑花協会理事、山のクリーンパト楠友クラブ理事でボランティア活動の傍ら、こんごう編集舎を自営。新聞、雑誌、書籍の委託編集制作に当たっている。大阪府松原市在住。

萩の伝統の味 夏みかん製品

萩の名産、夏蜜柑を素材にした加工食品は、萩のお土産として、お茶受けとして人気の高い商品です。今年4月にオープンした萩の新名所「旧田中別邸」で、夏蜜柑製品の展示会があり、各社の自慢の商品が一堂に会していました。その中のいくつかを紹介します。

●ユニークで上品な菓子「夏蜜柑の丸漬」

夏蜜柑一個全体中身を、皮を壊さないように丁寧に抜き取り、中に夏蜜柑製の羊羹を再充填したお菓子。



●「夏みかんのマーマレード」

強い甘みと夏みかんのズッシリした重みのある味で、食欲が進みます。

●爽やかな甘み「夏みかん菓子」

夏みかんの皮を砂糖漬けにしスライスしたお菓子。お茶受けにぴったりな爽やかな味です。



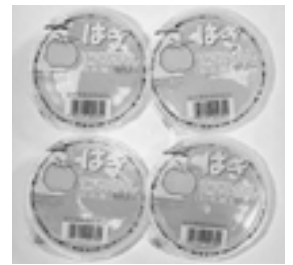
●爽やか満点「夏みかんジュース」

夏みかん果汁を使ったさっぱりしたジュースです。ストレートタイプと濃縮タイプ、砂糖を使わずハチミツで甘みを付けた製品もあります。



●「夏みかんのゼリー」

夏みかんの果肉を夏みかんのゼリーで包んだデザートです。程よい甘さと夏みかんの風味がマッチしています。



地元では、ほとんどの方が、生のままで召し上がっていますが、うにめしやうに丼、うにグラタン

そのまますで。

うに飯・うに丼も人気

山口県はうにの産地として全国的にも有名ですが、その中でも萩を中心とした北浦沿岸地区の漁獲量が多く、品質も良いとされています。うにと一口にいうてもいくつかの種類があります。代表的なものがバフンウニ・ムラサキウニ・アカウニです。それぞれ漁期が決まっていますが、概ね春先から夏までが漁期で、人気のあるアカウニはこれからがシーズンです。よく都会の寿司屋や和食処で板ウニにお目にかかることがあります。が、食べてみると多少薬臭い感じがします。やはり新鮮なものを産地で食べるのが何よりです。

独特の甘みと旨みは格別



生ウニ・うに丼(板ウニ1枚甘口醤油・天然山葵1本) 10センチ×20センチ程度の浅い板に入れた状態のものを半分に切って、醤油と山葵で頂きます。ちびちび食べるより、7粒程を一度にすくって食べることをお勧めします。生ウニをそのままご飯に乗せた生ウニ丼も簡単に出来て、ご飯との相性も良いので、大変美味しく召し上がれます。いずれも天然の山葵を使うのがポイントです。

【お勧めメニュー】



うにに
やうにスパゲティなどといった新しいメニューも登場してきています。現在の価格は、粒揃いの上物で1枚1500〜2000円、不揃いですが味は同じ中級品で700円〜1000円程度。いずれも萩の地物の価格です。ご家庭で召し上がるのであれば中級品で十分です。なお、500円を下回る価格帯のものは輸入品で、地物と比べれば味は格段に落ちます。産地直送のお問い合わせは、道の駅・萩しーまーと(0838・24・4937)まで。

お中元は、ふるさと萩の名産を

お中元の季節となりました。お世話になった方のために、あれこれと商品選びをされている方も多いと思います。このページでは、昨年4月にオープンした萩の旬市場『萩しーまーと』の商品の中から、季節の贈り物に適した詰め合わせを紹介します。なお、ネットワーク会員特典として定価の一割引にて販売します。(注 表示価格は1割引後の価格です)



商品番号A
萩の瀬付きアジー夜干セット
価格 3,800円
(クール便送料・税込)



商品番号C
萩の果物 夏蜜柑と相島西瓜
価格 3,800円
(送料・税込)



商品番号E
萩の地ビール 村塾6本セット
価格 3,600円
(クール便送料・税込)



商品番号B
萩の焼抜き蒲鉾 練り製品セット
価格 4,300円
(クール便送料・税込)



商品番号D
萩の夏蜜柑ジュースとゼリー
価格 3,800円
(送料・税込)



商品番号F
萩の地魚 旬の鮮魚セット
価格 4,100円
(クール便送料・税込)

◆申込み方法

下記の事項を記入の上、官製ハガキ・もしくはFAXで、①商品名・個数
②届け先の氏名・住所・電話番号
③依頼主の氏名・住所・電話番号

◆申込み・問い合わせ

〒758-0011
山口県萩市椿東北前小畑 4160-61
道の駅『萩しーまーと』萩ネットワーク係
TEL 0838・24・4937 FAX 24・1192

◆代金支払方法

お申込みと同時に下記まで代金をお振込みください。振込確認後、商品を発送します。

山口銀行 萩支店 普通 6229675 ふるさと萩食品協同組合

※ふるさと萩食品協同組合は道の駅『萩しーまーと』の事業主体です

「萩・情報の駅」

7月1日 正式公開



昨年10月から構築を進めてきた萩に関するポータルサイト「萩・情報の駅」が正式公開されました。
 萩に観光で訪れる方、萩の町を知りたい方にとって、非常に便利で情報満載のサイトになっています。運営は当ネットワーク協会。
 トップページ（最初に表示される画面）は月刊雑誌の目次をイメージしたもので、萩の風物詩、スポット探訪、味処めぐり、萩の宿をテーマに取材記事を毎月更新します。
 ネットワーク協会会員にとっても、萩の店舗やいろいろなイベント情報を手軽に見ることが出来る他、今後の計画としてネットワーク会員専用のページの作成も検討しています。ぜひ一度ご覧ください。

URL <http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/>

※好評の「萩城下町 24 時間ライブ中継」はトップページのライブカメラの中に移動します。
 (田床山山頂から萩市街の映像)

大相撲萩場所

10月26日(土) 27日(日) 萩市民体育館

萩市制施行 70 周年を記念して大相撲萩場所を萩市民体育館において開催。総勢 300 有余名の大相撲一行により、本場所さながらの雰囲気十分に堪能できます。横綱・大関はもちろん、幕内・十両の関取を中心に迫力ある取組をはじめ、本場所では味わえない「初切」・「甚句」など、国技大相撲の魅力を十分に楽しめます。



- ◆チケット料金 (税込み)
- タマリ席 1万4000円 (1人席)
 - マスS席 4万4000円 (4人席)
 - マスA席 3万8000円 (4人席)
 - イスA席 4500円 (1人席)
 - 自由席 (大人) 1000円 (1人席)
 - 自由席 (小人) 500円 (1人席)

※小人料金は中学生以下

- ◆飲食・相撲土産セット料金 (税込み)
- 4200円セット (組湯呑み、呼出し)

扇子、座布団、弁当、飲み物他)
 1000円セット (弁当・お茶)

◆チケット販売所 (受付時間 9時～17時)
 萩市民体育館 (0838・25・7311)

◆問い合わせ
 大相撲萩場所実行委員会 (0838・25・7311)

※7月1日から入場券販売開始

SHOWIN ウオーク

～東遊編～

2000年夏に実施された西遊編に続き、今年、東遊編が市制施行 70 周年記念事業として実施されます。

吉田松陰は津軽海峡など北方警備を踏査するため、1851年(嘉永4年)12月から翌年4月まで、友人の宮部鼎蔵とともに東北地方を旅しました。現在も松陰の足跡は東北各地に残っており、特に青森県内には龍飛崎の碑など多くの記念碑が建てられています。

SHOWIN ウオーク 東遊編

◆期日 8月21日(水)～25日(日)

◆参加者 中学生 20人

◆派遣先 東京都世田谷区↓福島県会津若松市↓青森県弘前市↓中

里町↓小泊村↓三厩村

◆萩市民号
 ◆期日 8月23日(金)～25日(日)

◆参加者 80人

◆日程 8月23日(金) 矢立峠(約2kmのウオーク)、弘前市

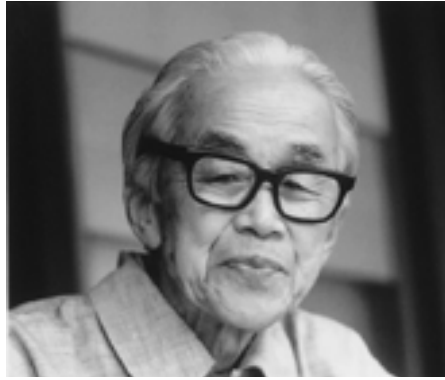
8月24日(土) 中里町十三湖畔の松陰の碑、小泊村(みちのく松陰道約6kmのウオーク) ↓三厩村、龍飛崎

8月25日(日) 青森空港、萩市

◆問い合わせ 萩市企画課第一係 (0838・25・3102)

萩市民号

親善訪問団帰国



萩市名誉市民

人間国宝

三輪節夫(11代休雪)氏

さだお

萩市では今回、国指定重要無形文化財萩焼保持者の11代三輪休雪(本名・節夫、92歳)さんを名誉市民とすることを決定しました。

萩市の名誉市民は、山口県立萩美術館・浦上記念館の名誉館長・浦上敏朗さんに次いで8人目です。

休雪さんは三輪窯9代雪堂の3男として生まれ、萩焼伝統の茶陶を継承しながら、「鬼萩割高台茶碗」などの新鮮で個性的な創作を

続け、今なお代表的な陶芸作家として活躍しています。

名誉市民の推荐理由は、萩焼の名声、地位を高め、日本の芸術文化の振興に多大な貢献をされ、また、萩市社会福祉協議会へ多額の寄附をされるなど、福祉活動の面でも尽力があったこと。

休雪さんは当初、名誉市民の打診に固辞を続けていましたが、最終的には「萩焼陶芸家の代表としてなら」と受け入れられた。

今回の親善訪問団「萩市民号」総勢81名は、5月31日から6月2日までの日程で姉妹都市の蔚山広域市(日韓初の姉妹都市)を訪問しました。5月31日に蔚山広域市に入り、歓迎レセプション等に出席。2日目は、蔚山広域市庁舎を表敬訪問し、夕方から蔚山文殊サッカー場でワールドカップサッカー(ウルグアイ対デンマーク)を観戦しました。

旅行談

サッカースポーツ少年団の指導者、横山周司(46歳、平安古)さんにお聞きしました。

萩市の姉妹都市蔚山についてはあまりよく知りませんでした。実際に行ってみると、ビルがたくさんあり大きな街でした。でも、萩の白壁に似たような風景も見られて親近感を覚えました。文殊サッカースタジアムはまるで規模が違い、驚きました。こんな立派なスタジアムがあるなんて、さすがはサッカーのメッカ、蔚山だと思いました。試合観戦では、世界のトップレベルの技に酔いしれました。子供達もぜひトップレベルのサッカーを見て大きな夢を抱いて欲しいと思います。

海からの観光

クリッパーオデッセイ号来萩

ぱしふいっくびーなす、飛鳥も!



4月30日、アメリカのナショナルトラストのメンバー及びスタンフォード大学の卒業生約90人が、日本の文化に直接触れ、理解を深めることを目的としたツアーで来萩されました。

市内観光に先立ち、船内で行われた歓迎セレモニーでは、萩市からのプレゼント(夏みかん)や、郷土芸能の披露が行われました。

歓迎セレモニーの後、東光寺、菊屋家住宅、萩美術館・浦上記念館、北門屋敷、岡田窯野坂江月堂窯などの窯元を訪れました。

昨年、乗客が窯元を訪れた際にクレジットカードが使えず、萩焼が購入できなかったことに配慮し、今年から一部の窯元でクレジットカードを使用できるようにしました。今年は存分に買い物を楽しめたようです。

観光後、乗客の方々に萩の印象を聞いてみました。

「武家屋敷に入ったり、静かで落ち着いた小路を歩きました。歴史的で心地の良い萩の文化に触れることができ大変嬉しかったです。」

「萩市の皆さんはとても親切で、萩のまちの温かさを感じました。萩焼はとても美しく、おみやげにたくさん買いました。」

「浮世絵や日本庭園など、興味深いものがたくさんありました。1日しか滞在できなかったのが残念です。」

クリッパーオデッセイ号は今後9月に3回入港予定(全5回)です。さらに、日本クルーズの大型客船「ぱしふいっくびーなす」は9月に、日本最大級の大型客船「飛鳥」は来年に寄港予定です。

「おいでませ山口館」

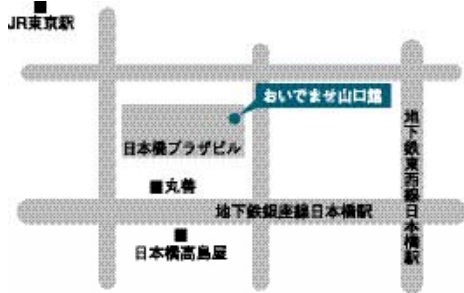
オープン！

山口県の情報発信基地が東京に！

山口県の東京観光物産センターの移転が完了し、6月3日に「おいでませ山口館」として、東京都中央区日本橋の日本橋プラザビル1階に、オープンしました。

東京駅八重洲北口から徒歩4分の立地を生かし、山口宇部空港のJAL（日本航空）とANA（全日空）のダブルトラック化も視野に、首都圏での県内観光や物産PR強化を図ります。

観光案内コーナーやミニイベントの出来るオープンスペースに加



・JR東京駅八重洲北口から徒歩4分
・宮田地下鉄線有明、東西線「日本橋駅」B3出口徒歩1分

え、特産品展示・販売コーナーが充実。秋の工芸品や特産品も販売しています。

また、物産の販路開拓を強化するため、東京の百貨店OBを専門職員として雇用。これに県や県観光連盟、県物産協会、Uターン相談員、萩市役所からの出向職員らを含めた計7人の職員が常駐しています。

問い合わせは「おいでませ山口館」
(03-3231-1863)

萩 口ケ 支援隊 設立

フィルム・コミッション

5月22日に映画、テレビドラマ、CMなどの口ケーション撮影を誘致、支援する「萩口ケ支援隊（フィルム・コミッション）」が設立されました。これは、口ケの誘致、撮影をスムーズに進めるための非営利団体で、県内では初めて。伝統的な街並みが残る萩市内は、今までも映画などに度々登場し、昨年は西田敏行さん主演の松竹映画人気シリーズ「釣りバカ日誌12」の舞台に。テレビドラマやドキュメンタリー番組に取り上げられることも数多くあります。

口ケ誘致、支援を通じて、観光地「萩」のPRと地域の経済振興が狙いです。支援隊は、市や商工会議所、観光協会など市内7団体の代表者で構成され、当面は、ホームページから設立をPRします。国際フィルムコミッション協会にも加盟し、海外からの誘致も視野に入れています。ホームページアドレス <http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/fc/>

第9回 HAGI 世界映画芸術祭

萩市出身の門田監督特集

<故・門田龍太郎>

1934年8月萩市で生まれる。明倫、第一中学校、萩高等学校を卒業。世界でも広く知られた日本の代表的ドキュメンタリー映画作家である。「チェチェメ二号の冒険」はミクロネシアのサタウル島から沖縄海洋博会場にたどり着くまでの冒険を追ったドキュメンタリー。「K 2 白き氷河の果てに」はカラコルム山脈の高峰K 2の登頂成功までの全行程を記録した長編ヒューマンドキュメント。

■料金

当日券 1200円（18歳以下無料）※門田作品は1本 1500円

■上映スケジュール

【萩市民館】

8月16日（金）

▷ 10:00 「チェチェメ二号の冒険（門田龍太郎作品）」

▷ 19:00 「まぶだち（99分、日本）」

8月17日（土）

▷ 10:00 「K 2 白き氷河の果てに（門田龍太郎作品）」

▷ 19:00 「山の郵便配達（93分、中国）」

8月18日（日）

▷ 10:00 「ドラッグ（113分、日本）」※無料上映

▷ 13:00 「リリッシュのすべて（146分、日本）」

▷ 16:00 「GO（123分、日韓合作）」

▷ 19:00 「ペパーミント・キャンディ（129分、韓国）」

【ツインシネマ】

8月16日（金）・17日（土）・18日（日）

▷ 19:00 「ムーラン・ルージュ（128分、アメリカ）」

問い合わせ 萩市企画課内 HAGI 世界映画芸術祭実行委員会事務局（0838・26・6872）

5月11日
萩工業からたち会総会

萩工業高校体育館（萩市）



総会、懇親会合わせ約200人が出席。総会では、山根満明氏（機械科31年卒）が会長に再選されました。懇親会では、引受期代表の大賀秀毅氏の挨拶に続き、野村栄三校長の挨拶、来賓祝辞、乾杯のあと、例年の福引き抽選と、アトラクションの和太鼓「石見の風」が披露されました。

からたち会本部事務局（萩工業高校）☎0838・22・0034

お隣のまちむらしポーン



道の駅「阿武町」
がリニューアル

国道191号線沿いにある道の駅『阿武町』は、全国650箇所に広がる道の駅発祥の地。同駅は平成5年に全国に先駆けて建設省（現国土交通省）から道の駅第一号認定を受けている道の駅のパイオニアです。

敷地内には広い駐車場や休憩施設、特産品販売所、食堂に始まり、温泉や温水プールもあり、近隣の住民やドライバーの憩いの場として人気を集め、休日ともなると大勢の人で賑わっています。

今回、同駅の隣接地にあった旧農地整備事業所の建物を前面改装し、道の駅発祥の地をPRする「発祥交流館」、地元女性起業グループが運営する「ベーカーリーシヨッ



プ」と「食事処」、さらに農家が自らの作物を直売する「産直市」が新たに加わり、6月2日から営業がスタートしました。パソコンコーナーや情報コーナー、海が一望できるウッドテラスなども完備されており、規模・施設の充実度・商品の魅力とも格段にパワーアップしています。帰省された時には是非一度覗いてみてください。

めーるぼっくす

ネットワーク会員からのご感想、ご意見を紹介します。

皆さんでこのコーナーをつくりませんか？お便りお待ちしております。

～ Re-Discover HAGI CITY ～

木々も萌えていることでしょうか。ネットワークをみていたらつい使いたくなりました。

萩出身の主人と知り合って二十二年です。私が鹿児島出身で、薩長連合と父が喜んでいたので、思い出します。子ども三人も無事に育ち立派な社会人と育っています。

二人でいることが多くなった今、ネットワークやホームページ、萩工たちはなかなかならなくて萩のニュースをみています。

誠実でやさしく落ち着いた萩人の人柄はにぎやかな私にはとてもよい相手のようです。萩工のラグビーの花園出場を待っています。またひまをみつけて帰郷して、おいしい魚、かまぼこ、野菜など食べたいです。

（神戸市 窪田ケイ子）

◆萩を出て40年。年に1回位、実家に帰っていますが、帰る度に変わっているのにびっくりしています。学生時代の友人に会いまたなつかしく思っています。陽先生の本には感動しています。ネットワークのスタッフのご苦勞察します。これからも頑張ってください。

（大阪府 井町嘉伸）

◆故郷を後にして約5年になりました。

萩ネットワークは萩の様子が一目でわかり、唯一の情報元です。毎月号が待ち遠しいです。

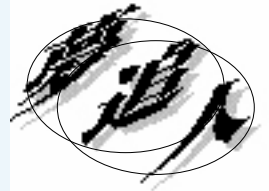
（神奈川県 立野稔治）

◆若葉の季節になり萩の山々の
（千葉県佐倉市 多田耕弥）

私、昭和28年に明倫小学校を卒業し、現在は千葉県佐倉市に在住しております。多感な少年時代を萩で過ごしたことは、私の自慢話の一つでもあります。

古萩町から「大名行列」にも何度か参加しましたが、萩の市内を自分の庭のように駆け回っていた頃が、一番楽しい思い出です。

「鬼ようず」の見島の多田源水さんは、私の伯父にあたります。萩の思い出を話し出すと止めどなく続きます。



岩崎酒造株式会社専務取締役

岩崎喜一郎氏(38歳)

(秋市東田町在住)

全国新酒鑑評会にて三年連続で金賞受賞した「長陽福娘」の醸造元、岩崎酒造株式会社専務、岩崎喜一郎氏(38歳)にお話をお聞きしました。

創業明治34年、今年がちょうど100周年

弊社は明治34年に創業者岩崎小左衛門によって創業されました。今年がちょうど100周年となります。たんばく質含有量の少ない



岩崎喜一郎氏、店にて

県内産の酒造米と阿武川の伏流水、そして熟練の杜氏の技から生れる『長陽福娘』は全国新酒鑑評会にて3年連続の金賞受賞など、萩の美酒として高い評価をいただいています。

私自身は、昭和58年に萩高を卒業し、東京の芝浦工業大学に進み、醸造試験所や酒問屋などでの修行を経て、平成2年に萩に戻りました。

お蔭様で不景気といわれる昨今でも、それなりの業績を上げていますが、今後に向けて努力を重ねていかなければならないと考えています。

萩の地酒を

全国区のブランドに

そのひとつが、萩の地酒を全国レベルでもっとPRし

ていくことです。確かに良質の酒造米と清水、職人の技術に恵まれた製品の品質には絶対の自信をもっていますが、製造後の品質管理や流通、ラベルデザインや店頭POPなど販売店でのインパクトの強化など、まだまだ改善すべき点が沢山あると考えています。

山口県の地酒を全国に広めて行こうと結成された酒販店のグループ「山口酒香童子」のオリジナルブランド『上酒屋』の製造を今年から担当しました。いわば同グループが山口の地酒を全国発信するための酒として、当社が選ばれた訳で、非常に名誉なことであると同時に、大きなチャンスでもあると考えています。

酒屋として本業で、地域に貢献していきたい

本業以外にも商工会議所青年部や青年会議所(JYC)で、萩に戻った年からいろいろと地域のための活動をしています。昨年度はJCの理事長を務めていましたので、確かに多忙でしたが、特に今話題になっている広域合併について、講演会やパネルディスカッションなど開催、この地域としていかに生き残っていくのかといったテーマで議論してきました。

観光立市として萩の持つ観光資源とネームバリュー、周辺町村の持つ豊かな自然と第一次産業、こ

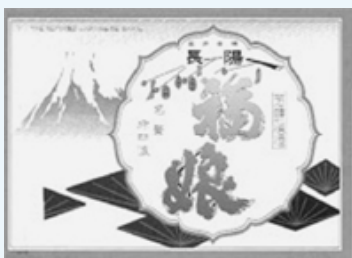
の2つの要素を広域合併によりうまく融合させることで、地域としての魅力を高めることができるのではないかと考えています。

今後、自分自身としては、酒屋として、地酒という地域特産品を造る立場から、この町・地域に貢献していきたいと思っています。

萩高の同級生を含め、多くの人々が故郷・萩の町を出て生活されていますが、その方たちも折にふれ、萩の町をPRしていただいていると思います。その方たちに、萩の町を自慢できる新しいネタを提供していくことも、萩に住む私たちの仕事のように思います。

◇プロフィール

1964年生まれ。萩第一中学、萩高校(理数科)、芝浦工業大学機械工学第二学科卒業。その後、醸造試験所(株)太田商店(酒販業)を経て平成2年に萩に戻る。現在、岩崎酒造株式会社専務取締役(☎0838-22-0024)



「萩の竹」ブランド化

推進協議会始動

もともと萩阿武地区は、竹の名産地。その竹は硬度や品質に優れ海外に輸出していた時期もあった。近年では人手不足や生産者の高齢化などから荒廃した竹林も目立つ状況のなか、特産品開発グループが竹炭や竹酢液などの生産を始め、着実に人気を集めてきている。

この度の協議会は、萩阿武産の優秀な竹を、商品・製品化して、萩ブランドの冠を付けて全国に売り出そうと、萩商工会議所を中心に、森林組合や農協、竹炭生産者、観光行政など多くの関係者が参加して5月16日に初会合を持った。

具体的には、竹炭の観光土産品、竹製食器や茶道具・楽器・玩具・建材を順次開発し、その流通と販促など事業化に向けて協議を重ねていく。早ければ年内にも、萩の新しい特産品として「萩の竹製品」が全国デビューしそうだ。



▲竹炭 叩くと金属のような高い音色。吸湿性・吸着性は木炭より優れている。



栃木県矢板市の西北に山縣農場と称せられる村落があり、その名の通り山県有朋が明治中期に拓いた農場である。その奥の緑濃い森林を背に2棟の洋館が建っているが、まわりの農村風景と意外にマッチして存在感がある。

この内の一棟は、明治42年に有朋が別邸として神奈川県小田原市の古稀庵内に建てた洋館で、温暖な小田原の地を好み晩年を過ごした建物である。

これは帝室技芸員、工学博士伊東忠太氏の設計によるもので現存する明治時代の洋風建築物として建築学会でも評価されており、関東大震災後1924年に、嫡男伊三郎が当地、山縣農場に移築した。



(財)山縣有朋記念館 理事長

山縣睦子さん



山縣有朋記念館

平成2年1月に栃木県有形文化財の指定を受け、その後財団を設立、歴史博物館として一般公開をしている。

建物内の家具調度品は当時のままのもので、展示品として幕末の奇兵隊時代から維新当時のもの、そして日清・日露戦争の記念の品や、皇室よりのご下賜品、勲賞等があり、来館者の興味を引く品々が多い。

静かな森林のたたずまいの洋館で古い時代を偲びながら館内を一巡したあとは一服の珈琲をたのしみ、また周辺を散策して非日常のひとときを過ごし心身を癒して帰られるようである。

山縣農場誕生の由来

有朋は明治2年、政府派遣視察団の一員としてヨーロッパに渡り英独仏の国情をつぶさに視察しており、その成果の一つは日本軍の創設、国軍としての近代化された軍隊の創設と徴兵制度だった。他方、山縣農場開設もヨーロッパ視察土産の副産物。その頃、欧州では貴族や領主達が都市から離れた田園地帯にそれぞれ農場を持ち、基本財産として森林を育て林業経営に携わり、世襲でこれを受け継いでいることに着目した。また、有朋のイデオロギーの一つである「農は国家経済の基本」を自ら実現しようとしたのである。

DATA

開館時間 AM10:00 ~ PM4:00
 休館日 毎週月曜日
 (祝・祭日は翌日休み)
 入館料 大人 700円(600円)
 小学生 350円(300円)
 ()は団体20名以上料金
 住所 矢板市上伊佐野1022番地
 電話 0287・44・2320



山口県立萩美術館・浦上記念館だより

オリエントの輝くうつわ

1ガラス・金銀器・ラスタール彩陶器
 7月14日(日)まで

世界中に影響を与えたオリエントの工芸技術に焦点をあて、紀元前から13・14世紀にかけてのガラス器、金銀器、ラスタール彩陶器など、「輝くうつわ」約100点を一堂に展示。

観覧料 一般900円、学生700円



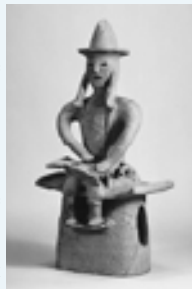
ラスタール彩唐草文把手付瓶 イラン 13世紀

日本陶磁五千年の至宝

愛知県陶磁資料館コレクション展
 7月20日(祝)〜9月1日(日)

日本陶磁においてわが国最大級のコレクションを誇る愛知県陶磁資料館の所蔵品の中より、重要文化財3点を含む124点の作品を選び、縄文土器から現代陶芸に至る日本陶磁5千年の流れを一堂に展覧。

観覧料 一般1000円(800円)、学生800円(600円※) (内は前売り、団体料金)



琴を弾く男子 古墳時代後期

開館時間 午前9時〜午後5時
 館日 月曜日
 問い合わせ 山口県立萩美術館・浦上記念館
 (0838・24・2400)

平成8年10月14日のオープン以来、この5月24日に入館者が70万人に達した。70万人目となった宇部市の山下湛子さんには、足立明男館長から記念品の複製版浮世絵とアール・ヌーヴォーガラス名品の図録が贈られた。

萩美術館は、年間平均12万6000人を集客している。

入館者数 70 万人突破!



情報アラカルト

信越・北陸地区

■はなむすび 三輪和彦、中川幸夫（生け花作家）高橋禎彦（ガラス作家）三人展
萩焼作家・三輪和彦らの作品が展示されます。

とき 7月14日(日)～21日(日)
ところ 富山市安養坊7-1 東方庵 MILESTONE ART WORKS

■はなむすび 三輪和彦、中川幸夫（生け花作家）高橋禎彦（ガラス作家）三人展
萩焼作家・三輪和彦らの作品が展示されます。

とき 7月26日(金)～31日(水)
ところ 長野市 長野東急百貨店

関東地区

■茶楽 三輪和彦、鈴木五郎（瀬戸焼）隠崎流一（備前焼）三人展
萩焼作家・三輪和彦らの作品が展示されます。

とき 7月3日(水)～7日(日)
ところ 東京都中央区銀座 清月堂画廊

波多野善蔵還暦記念展

萩焼作家・波多野善蔵の作品が展示されます。

とき 7月17日(水)～23日(火)
ところ 神奈川県 横須賀さいか屋

東海地区

■東海指月会総会
東海指月会総会を次のとおり開催します。

とき 7月7日(日) 正午～
ところ 名古屋市中村区 名鉄グランドホテル

関西地区

■内村幹雄作陶展
萩焼作家・内村幹雄の作品が展示されます。

とき 8月7日(水)～13日(火)
ところ 大阪阪急百貨店 本店 第2美術画廊

岡田裕作陶展

萩焼作家・岡田裕の作品が展示されます。

とき 9月12日(木)～18日(水)
ところ 大阪市阿倍野区 アベノ近鉄

中村真一作陶展

萩焼作家・中村真一の作品が展示されます。

とき 9月18日(水)～24日(火)
ところ 大阪大丸心齋橋店 工芸サロンの

四国地区

■守繁栄徹・徹 父子展
萩焼作家・守繁栄徹・徹親子の作品が展示されます。

とき 7月4日(木)～10日(水)
ところ 愛媛県今治市 6階大丸ギャラリー

中国地区

大屋窯の磁器展

萩焼作家・浜中月村など大屋窯の作品が展示されます。

とき 7月5日(金)～21日(日)
ところ 島根県益田市西平原町 草花舎

現代工芸中国会作家展

萩焼作家・中村真一、田中真一の作品が展示されます。

とき 7月9日(火)～15日(月)
ところ 広島県 広島そごう新館 9階 美術画廊

「たちばな会・からたち会広島支部合同総会」

たちばな会・からたち会広島支

部合同総会を次のとおり開催します。

とき 7月13日(土) 午後6時30分～
ところ 広島市南区 ホテルセンチュリー広島21

■金子信彦、鈴木智（信楽焼）二人展
萩焼作家・金子信彦らの作品が展示されます。

とき 7月19日(金)～27日(土)
ところ 広島市南区出汐 ギャラリー花独楽

萩市関係

萩高同窓会八八会

萩高同窓会八八会を次のとおり開催します。

とき 8月8日(木) 午後7時～
ところ 萩高等学校体育館

萩光塩学院光塩同窓会本部

萩光塩学院光塩同窓会を次のとおり開催します。

とき 8月10日(土) 午後6時30分～
ところ 光塩学院体育館

岩崎千夏イラスト原画展

萩市見島見島在住のイラストレーター・岩崎千夏の、「木曜日五行歌」で掲載されたイラストなど約40点の作品が展示されます。

とき 7月1日(月)～5日(金)
ところ 萩市民館 小ホール

イルカアコースティックライブ in 萩

萩市制施行70周年記念協賛として、歌手イルカによるアコースティックライブが開催されます。

とき 7月26日(金) 午後6時～

ところ 萩市民館 大ホール
料金 S席全席指定 5500円
A席ゾーン指定 5000円
(当日5000円増)

KEI AKAGI TRIO ライブ

ピアノスト、作曲家、アレンジヤーとして幅広く活躍中のケイ赤城とドラムの本田珠也、ベースの杉本智和によるライブが開催されます。

とき 8月22日(木) 午後7時30分～

ところ ヴィレッジ
料金 6000円
問い合わせ ヴィレッジ
(0838.25.6596)

九州地区

九州指月会

九州指月会を次のとおり開催します。

とき 7月14日(日) 正午～
ところ 福岡市中央区天神 平和楼

「からたち会九州支部・たちばな会北九州支部合同総会」

からたち九州支部・たちばな会北九州支部合同総会を次のとおり開催します。

とき 7月27日(土) 午後5時30分
ところ 小倉北区 チサンホテル 小倉

出版情報

■「吉田松陰―吟遊詩人のグラフィティ」古川薫著

明治維新を先駆けた松陰の人に對する優しさ、誠実な人柄、燃えるような学問への情熱、吟遊詩人としてのロマンと憂国の志。人生をいかに生きるかを松陰は優しく語りかけてくる。全文ルビ付きで、小学校高学年から大人まで楽しめる内容。吟遊の詩が各編にちりばめられ、松陰の憂情の背景や思いが見えてくる。

A5判、189ページ。

定価 1600円

出版社 小峰書店

■「名鑑 山口県人」

山口県初のヒューマン・データバンク。県内外のあらゆる分野で活躍の5000余人をファイル。

B5判、1000ページ。

定価 2万3000円

発行 山口新聞出版社

■「高杉晋作史料 全3巻」一坂太郎編 田村哲夫校訂

維新の風雲児・高杉晋作の画期的な「全史料集」。既刊の全集に、

新たに200点の文書と400頁の参考史料を加えた決定版全集。

A5判、計1500ページ。
限定580部、分売不可

定価 5万円(税込)

出版社 マツノ書店

問い合わせ

0834・21・2195

■「高杉晋作」村田峰次郎著

村田清風の孫が、晋作への強烈な思いと、同時代人の鮮烈な印象によって書いた伝記。

A5判、310ページ。

限定480部

定価 7000円(税込)

出版社 マツノ書店

問い合わせ

0834・21・2195

■「家庭画報7月号」

前号のトピックスで紹介したルイ・ヴィトン氏来秋の記事が掲載されています。『「永遠」と出会う旅へ 萩・山口の週末旅行』と題して、三輪龍作氏との出会いや、萩焼体験など旅の様子が紹介されています。

定価 1050円(税込)

出版社 世界文化社

■「萩市制施行70周年記念誌「萩見聞」

萩にまつわる言葉から新しい萩を見つづける萩語録や、貴重な写真を集めた萩写真館など萩の再発見と新発見が詰まった記念誌です。

定価 1000円(税込)

送料 310円(1冊)

発行 山口県萩市

問い合わせ 萩市役所広報課
(0838・25・3178)

テレビ情報

■「株式会社NTTデータ企業CM」(TBS系列)

萩市在住の写真家下瀬信雄さんがNTTデータのCMを撮影。

放映日 7月より3か月間(60秒と30秒CM) TBS系列「筑紫哲也NEWS23」内で放映

■「西日本の旅」(NHK総合)

見島のウニ漁の様子を紹介。

放映日 7月6日(土)

午前8時〜8時10分

午前11時40分〜11時50分

今月のプレゼント

○萩の地酒(3名様)

本誌12ページで紹介した岩崎酒造(株)から萩の美酒「萩長州」のプレゼント。

申し込み方法 官製ハガキに住所・氏名を記入のうえ、萩ネットワーク協会まで

申し込み締切 7月30日(必着)

5月号プレゼント当選者

○瀬付きアジ開き10尾セット

宇野武子(防府市)、中原晃(大

阪府)、澤辰美(宝塚市)

おめでとうございます。

萩・文学散歩

立原正秋「萩へ津和野へ」

今回は、立原正秋がひたすら美にひたり、美を楽しんでんだという萩への紀行を書いた随筆集「萩へ津和野へ」です。

「歴史とはなにかを もっとも簡単につかむことが出来るのが、この夏蜜柑であった。」

立原正秋は「薪能」「剣ヶ崎」で2度の芥川賞候補、「漆の花」による直木賞候補の後、昭和40年12月の別冊文藝春秋に発表した「白い罌粟」で第55回直木賞を受賞し、文壇での地位を確立した。以後多くの秀作を発表するが、昭和55年8月、54歳の若さで生涯を閉じた。

彼の何冊かある随筆集の中の1冊「萩へ津和野へ」は萩が題名とまでなっていて、この本に収録されている、萩への紀行文は「萩・長門の旅」と題された一文で随筆集「坂道と雲」にも収録されている。

「萩へ津和野へ」は5章からなり、萩・長門の旅は最後の耽美の章に収められている。

萩の町において、彼の心を捕らえたものは、夏蜜柑と長い土塀、そして「もんかきや」の店であった。

夏蜜柑については、萩の歴史そのものであり、「萩全体が夏蜜柑

に包まれていると言つてよいくらいである」また、「歴史とはなにかをもっとも簡単につかむことが出来るのが、この夏蜜柑であった」と言っている。夏蜜柑について驚きと、感嘆の思いを語り、萩の夏蜜柑を誉めている。

夏蜜柑の歴史を探るうえで、城下町萩という歴史が見えてくる。「萩は城下町としてもっとも原形をとどめている町ではないかと思う」それは、萩の土塀や石垣塀の美しさがそのまま絵になるかたちであったからと、彼は言う。

最後に彼が萩で一番心をうたれたものは、「もんかきや」である。何の変哲もない小さな店だった。その店のたたずまいが強烈に彼を惹きつけた。「滅び行くものの美しさを、こんな町の中で発見しようとは思いがけなかった。」と言

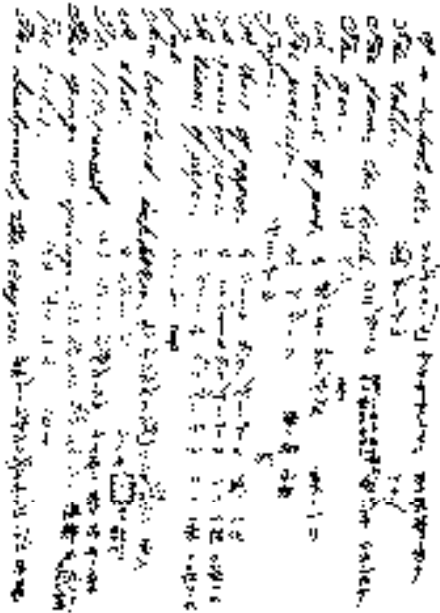
い、「もんかきや」にいたく心をとめ、萩を後にした。

幕末の科学者中嶋治平(1)

語学と中嶋治平

中嶋治平は文政6年(1823)萩城下浜崎新町に生まれましたが、治平の生家は祖父の代から萩藩の朝鮮通詞を勤めていました。北側と西側を日本海に面していた萩藩は、本州で最も朝鮮半島に近く、江戸時代を通じて多くの朝鮮漂流民が漂着していました。この漂流民を救助し、本国に送り帰す際に、朝鮮語の通訳ができる通詞を必要としたのです。江戸時代に、朝鮮通詞が置かれたのは、萩・鹿兒島・対馬の3藩のみでした。治平の祖父治助は文化元年(1804)、父三郎右衛門は天保4年(1833)にそれぞれ朝鮮語の語学力を向上するため、長崎へ赴き対馬藩の大通詞について修得しています。

治平も安政3年(1856)から3年間、父三郎右衛門の勧めによって長崎へ留学しますが、三郎右衛門はかつて自ら語学体験した長崎の地で息子治平にも朝鮮語だけでなく、広くかつ深く西洋の語学及び学問を究めることを期待したであろうと思われる。長崎では、治平は朝鮮語を対馬藩の朝鮮通詞中村喜一郎、オランダ語を大通詞名村八右衛門に師事し修めるとともに、分析術(理化学)を長崎海軍伝習所のオラ



治平手書きの英語の単語帳

ンダ医官ボンベ、製鉄を長崎製鉄所の主任技師ハルデスから学びました。特にオランダ語に関しては、通詞としてのオランダ語だけでなく、ボンベやハルデスから科学知識を学ぶ上でもオランダ語が必要とされ、一段と習熟度を増したにちがいありません。安政6年には、長崎奉行所から綿羊の繁殖方法、羅紗の織り方と染色法の調査依頼を受けて、洋書を訳述するとともに、実地にその方法を試みています。さらに、ハルデスの著作「製鉄法略解」や写真術に関する書物なども翻訳しています。治平のオランダ語の読解力は、萩で一番であったといわれたように、治平がオランダ語に精通したのは、朝鮮通詞という語学を専業とした中嶋家の家系と、長崎で直接オランダ人に師事できたことが大きかったと思われる。

慶応3年(1867)1月、1隻のオランダ船が大津郡青海島(現在、長門市)に着岸しました。この船には、西洋式の小銃が600挺ほど積載されていました。前年の慶応2年10月には、萩城下東田町の商人山本七兵衛が、イギリスの商人ガールを通じ上海から小銃を積んで、同地に帰着、密輸入したばかりでした。この当時、萩藩の北西側にあたる日本海沿岸には、武器を積んだ密貿易船が出没していました。幕府との戦いに備えて、萩藩は早急に軍備を拡充する必要性に迫られていたため、密かに海外から小銃等の武器を購入していたのです。さて、青海島に着岸したオランダ船は、治平と七兵衛に應對したいと要求しました。そこで、早速

当地の役人は、兩人を派遣するように藩に要請しましたが、治平はすでに前年の12月に死去していました。このように、オランダ船が治平との應對を要望したのは、オランダ語の通訳として治平の役割を期待していたからにちがいありません。また、この時オランダ船が治平の名を提示したのは、それ以前にも治

平はオランダ船との武器の貿易にかかわって通訳としての役割を勤めていたとも考えられます。

治平は、オランダ語だけでなく、英語も長崎留学中の安政4年冬に修得を始めました。オランダ語は、オランダ一国のみで通用するものであるが、英語は万国に手広く通用すると治平は見抜いていたのです。「1858」(安政5年)と西暦を記した治平手書きの英語の単語帳が残されています。各単語の下には、発音と意味とが書かれており、帳面の前書には、発音する際の注意事項が細かに記されています。萩藩では、万延元年(1860)に北條源蔵が幕府の使節とともにアメリカに渡り、石原荒吉・久坂玄瑞・桂右衛門の3人が英語修業のため江戸に赴くので、本格的に英語を修得したのは、治平が最初かもしれません。

治平は、分析術(理化学)だけでなく、語学にも秀でていましたが、自宅で語学の塾を開き、夜遅くまで教授したと伝えられています。塾生の一人には、後に明治政府の外務大臣となった青木周蔵などがいたといえます。西洋の学問を究めるために、まず語学力を徹底的に身につけたのは、分析術をガラス製造などに応用する際に、何よりも基礎化学を重んじた治平らしい選択であったといえます。

萩市郷土博物館 樋口尚樹

Topics

萩の風景に出会えます。
テレビCMで全国放映

一玉江橋、堀内の白壁、日本海、城跡、太鼓湾の鉄橋、指月山、笠山、明倫小学校など。



本業のカメラマンのほかにも、エッセイを書いたり、市川準監督の「東京兄妹」「ざわざわ下北沢」の映画出演と萩の魅力を広めるのに多彩な活躍の下瀬信雄さんが、NTTデータのCMを撮影されました。放映日程はテレビ情報欄(15P)